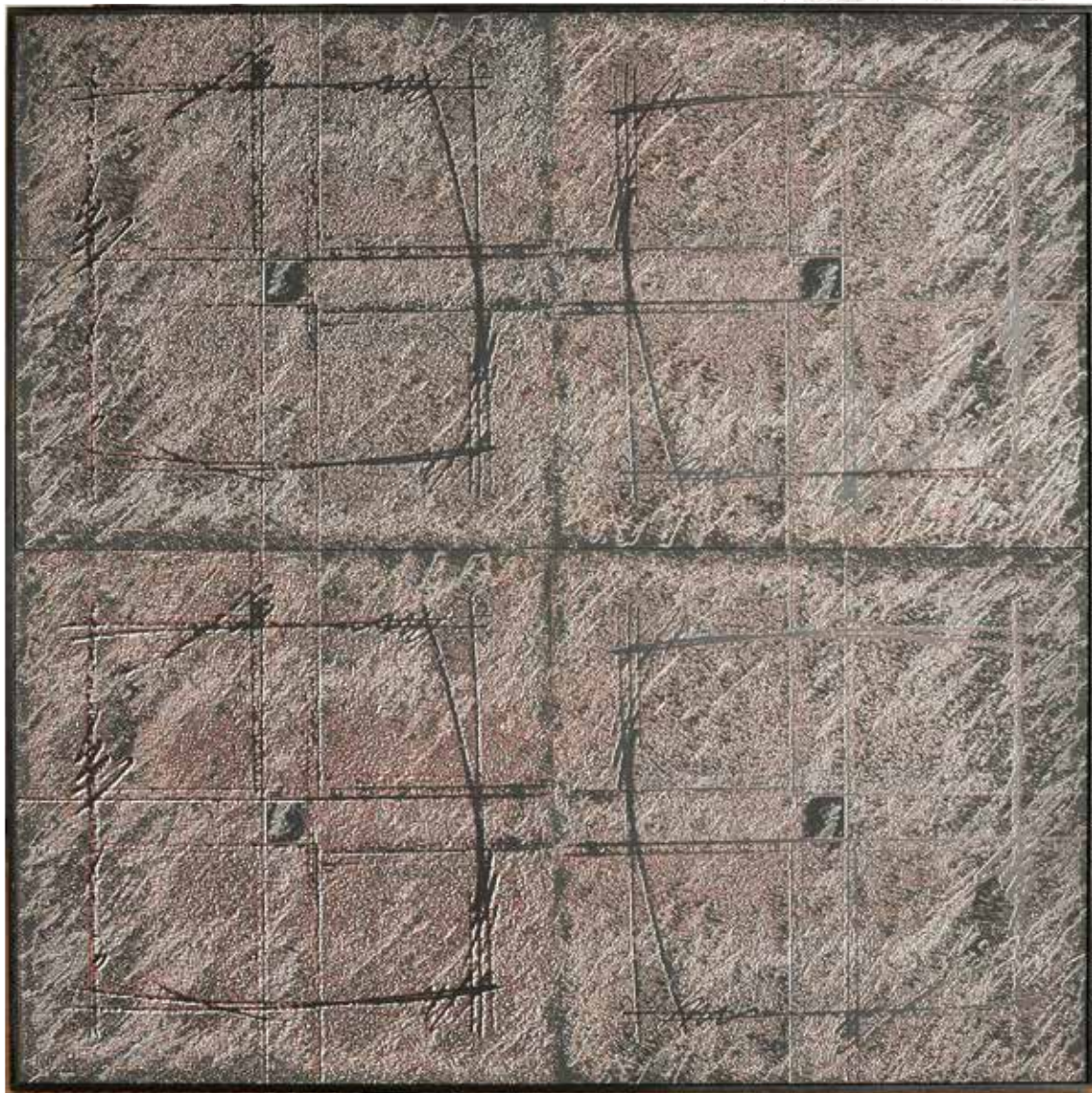


# 変流する抽象平面を追って

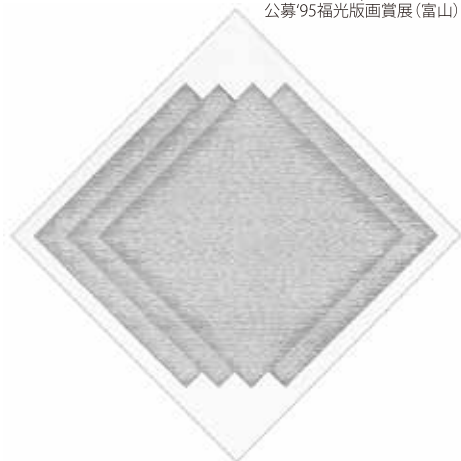
Printworks, the Trail of Abstract

舟見俊二 版の軌跡 1978-2019



the series of space'98LD-2 (100×100cm, シルクスクリーン) 公募'99第1回山本鼎版画大賞展(上田創造館)

the series of space'95A-2 (100×100cm, シルクスクリーン)  
公募'95福光版画賞展(富山)



2019年  
会期: **5月18日(土)~5月26日(日)** ▶20日(月)は休館 **入場無料**  
10:00~17:00

●ギャラリートーク:5月18日(土) pm3:00~  
(2018年10月24日自宅でのインタビュー映像の上映あり/茅原登喜子制作)

会場: **游文舎 ホール&ギャラリー**

文学と美術のライブラリー

**游文舎**

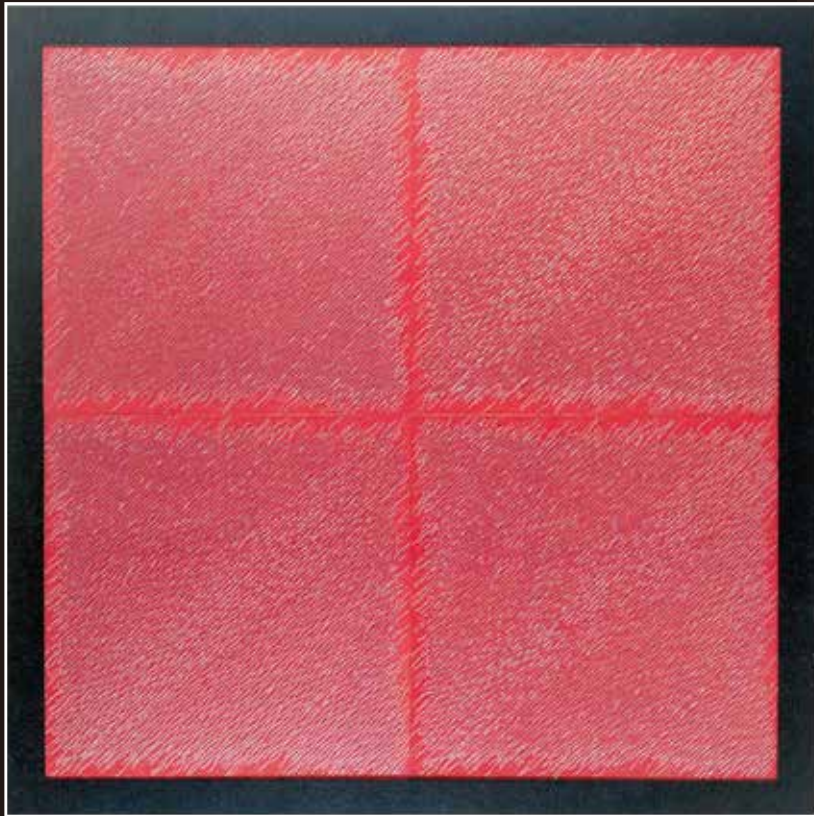
〒945-0822 柏崎市穂波町1-25 ヘルシービル 2F  
Tel.0257-32-1238 Fax.0257-21-9261  
HP: youbun.net



# 変流する抽象平面を追って

Printworks, the Trail of Abstract

舟見俊二 版の軌跡 1978-2019



the series of space'94GLL-2 (140×140cm, シルクスクリーン) 公募'94神通峡美術展 (大沢野)

## 舟見俊二の世界 変流する抽象平面を追って

キャンバスに向かって描き続けた油絵と訣別し、シルクスクリーン版による抽象表現での40年餘り。今回展示する作品は、その軌跡の一端ではありますが、刷り重ねられ、版面に現れ変容する世界は、時の痛みも宿しながらの記憶の累積とも言えます。対峙する私自身に新たな平面への問いを試しているのでしょうか。

*U. Fushimi*

## 抽象のエッセンスを探る

游文舎では2008年に舟見俊二氏のBOX ART展を開催しています。11年ぶりの本展は氏本来の仕事である版画表現に焦点を絞ります。BOX ARTの具象が帰納的に本質に迫るのだとすれば、版画の世界は演繹的のものごとの本質を追究するものに他なりません。半世紀に及ぶ軌跡の中に抽象のエッセンス (Essence=本質) を探る機会となりますように。

游文舎企画委員 柴野 毅実



the series of space'08B-1 (50×30cm, シルクスクリーン)



the series of space'05B-2 (26×65cm, シルクスクリーン)  
公募 第50回CWAJ現代版画展 (東京アメリカンクラブ)



the series of space'02LA-2 (100×100cm, シルクスクリーン)  
公募 環境と都市の美術展 (新潟)

## 舟見俊二プロフィール

- 1925年ー 上越市(高田)生まれ
- 1952年ー 東京芸術大学美術学部工芸計画部研修
- 1953年ー 油彩作品(〜75年)  
(78年〜)シルクスクリーン版画発表
- 1981年ー 主体美術協会退会
- 個展 1974年〜 東京・大阪・新潟・長岡・上越 他
- 公募・企画展 1977年〜 第1回日本現代版画大賞展・「サンシャイン」版画グランプリ展・第1回西武美術館版画大賞展・版画<期待の新人作家>大賞展・第16回リュブリャナ国際版画ビエンナーレ展・クラコウ国際版画ビエンナーレ展・新潟現代美術32人展・新潟現代美術「マグニチュード」・CWAJ現代版画展(第34回〜60回)・越後妻有「大地の芸術祭」・環境と都市の美術展・富山国際現代美術展 他
- パブリックコレクション  
新潟県立近代美術館・新潟市美術館・ティコティン日本美術館(イスラエル)・クラコウ美術館(ポーランド)・アメリカ国会図書館 他

自宅: 〒943-0837 上越市南城町3-1-15 舟見俊二

## 文学と美術のライブラリー

**游文舎**

〒945-0822 柏崎市穂波町1-25 ヘルシービル 2F  
Tel.0257-32-1238 Fax.0257-21-9261  
HP: youbun.net

2019年

会期: **5月18日(土)〜5月26日(日)** 入場無料  
10:00〜17:00

●ギャラリートーク:5月18日(土)pm3:00〜 ▶20日(月)は休館

会場: **游文舎 ホール&ギャラリー**

会場ご案内図▶

